免許教科決定に関する各教科（専攻）の紹介

中等教育教員養成課程
教科名：美　　術

１．教科の特色・目的

美術の授業時間減少を踏まえて、制作と鑑賞による指導が出来るバランスのとれた人材の育成を考えています。

２．専門教育の内容（レベルを含む。）

中学校美術のみならず、高校美術・高校工芸の一体化が基本的な考え方です。レベルは美術系大学と同等で、かつ幅広い領域を学ぶカリキュラムのため、それに対応した知識と持続力が求められます。

３．主な授業科目

絵画基礎Ａ、絵画基礎Ｂ、彫刻基礎Ａ、彫刻基礎Ｂ、構成デザイン基礎Ａ、
構成デザイン基礎Ｂ、工芸基礎Ａ、工芸基礎Ｂ（金工）、日本美術史、西洋美術史、
美術理論など

４．本教科を免許教科として選択するに当たっての留意点

広領域にわたる作品制作に関しては、相応の知識の獲得と授業時間以外の制作（予習・復習）が必要です。また、道具類の購入や材料費、学外演習に係る経費なども必要となります。高校での美術科授業の履修、或いは部活動などの経験が望まれます。

５．本教科を免許教科として選択するに際して必要な高等学校等での科目履修履歴・活動歴

特になし

６．その他（提出が必要な書類等）

これまでに制作した作品や写真資料，内容をまとめた概要等の提出を求める場合があります。